

Web版

図書館

しが

第173号

平成19年(2007年)8月1日発行

編集・発行 滋賀県立図書館

湖国を旅した朝鮮通信使 ～来日から400年～

朝鮮通信使 - 日朝両国の架け橋 -

朝鮮通信使の「通信」は「信＝よしみを通わす」という意味をもち、古くは室町時代に足利義満が送った「日本国王使」に対する朝鮮側の返礼として派遣された使者の一団が最初とされています。通信使は豊臣秀吉の時代にも来日しましたが、秀吉の朝鮮出兵による文禄・慶長の役によりいったん途絶えてしまいました。

江戸時代に入ると、日本側から朝鮮に対して通信使派遣の打診が行われます。断絶していた朝鮮との国交回復を目的としたもので、対馬藩の仲立ちにより慶長12年(1607)に第1回目の通信使が来日しました。日本側は幕府の威信をかけて通信使を歓迎し、交流は文化8年(1811)の第12回まで続くことになります。

『琵琶湖図』(部分) 円山応震筆 文政7年(1824年)

滋賀県立琵琶湖文化館蔵



画面右下に琵琶湖岸をゆく朝鮮通信使が描かれています。

第11回目の通信使の一行に書記として参加した金仁謙は、日誌『日東壯遊歌』(高島淑郎訳註 平凡社 1999年)のなかで「雄大なるは琵琶湖の姿、源なしに自然に湧き出て、三十里の広さに水をたたえ、深さ遠さまさに海の如し」と琵琶湖の雄大な景色をたたえています。

INDEX

- ・(特集) 湖国を旅した朝鮮通信使 1～3面
- ・今月のBOOKまーく - 中国湖南省から、研修生をお迎えします 4面
- ・郷土資料紹介 5面
- ・湖国の本棚 朝鮮通信使関連資料リスト 6面

図書館の催し

夏の企画展「城の国」近江を知る・見る・巡る

開催中 8月31日(金)まで

2階 参考資料室にて

夏休み子ども工作会

8月8日(水)午前11時と午後3時の2回

地下1階 大会議室にて 各回30名

児童室で各回1時間前から整理券配布

同和問題啓発資料展

9月1日(土)～24日(祝・月)

2階 参考資料室にて

おはなし会

9月19日(水)午前11時と午後3時の2回

1階 談話室にて

8月のおはなし会はお休みです。

朝鮮通信使と朝鮮人街道

通信使の一行は釜山から対馬・瀬戸内を船で渡り、大阪からは河川・陸路を經由して江戸を目指しました。享保4(1719)第9回目の通信使の記録『海游録』(申維翰著 姜在彦訳注 平凡社 1979年刊)によれば、京都を出発した一行は、大津市札の辻「本長寺」で宿泊、翌日は東海道、中山道を経て守山市守山「東門院」に宿泊しました。この道中に見た琵琶湖の景色を申維翰は「...ほとんど洞庭湖と争駆す。吾いまだ岳陽楼中からの眺望は知らないが、これと長短いずれにありや」と書き残しています。

守山を出て、野洲の行畑で中山道と分かれた一行は、近江八幡を經由して彦根市本町「宗安寺」で宿泊、鳥居本からふたたび中山道を通って岐阜に抜けました。この時通った彦根までの街道が現在の浜街道、通称朝鮮人街道と呼ばれています。

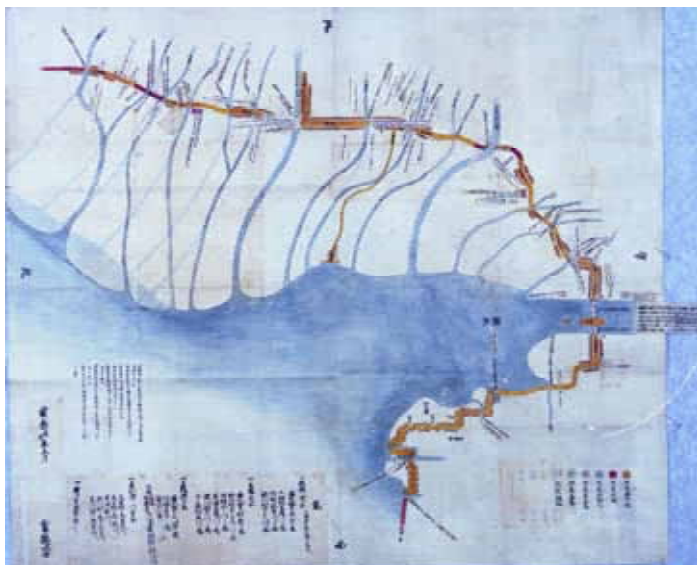
行畑の「蓮照寺」には「右中山道 左八まんみち」と書かれた、かつて朝鮮人街道の起点にあった道標が残されています。もともとこの街道は、関ヶ原で勝利した徳川家康が初めての上洛のおりに通った道で「吉例の道」として、大名行列が通ることは認められていない特別な道でした。このことから幕府が通信使を重要な外交使節と考えていたことが窺えます。

通信使のために街道整備

通信使の来日に当たっては、接待役や費用の拠出、通行する街道の整備などが各藩に言い渡されました。当館所蔵の『膳所藩領往還図』宝永7年(1710)には、第8回目の通信使来日を翌年に控え、膳所藩主が指示した藩領内の街道整備とその調査結果が記されています。

整備の指示は「一、往還筋の家々で見苦しい建物は残らず修繕あるいは建て直すように」といったことから、寺社、橋などの修理、落書きの削り取り、通行の妨げになる松並木の枝打ち、伐採などセッカ条からなっていました。

調査結果をみると、社寺関連では「神領(大津)の建部大明神では鳥居を修復中」、「草津立木大明神 社破損のため修復が必要」などの記載があります。橋の関連では「南笠(草津)の狼川に幅20間ほどの仮橋を掛ける」とある一方、当時幕府直轄だった瀬田の唐橋については「大橋・小橋ともに修理が必要だが、これは公儀御普請のためすでに届け出済み」として藩での修理は必要が無いといったことが、地図の該当箇所に記載されています。



「草津南笠
此川歩行渡
狼川の部分
幅廿間程仮橋掛ル」とある。

『膳所藩領往還図』 全体(左上)部分(右上)当館デジタルアーカイブにも掲載しています。

今も残る朝鮮通信使の姿

朝鮮通信使一行の総数は、毎回 400 ~ 500 人で、外交官のほかに楽隊や画家・書家・舞踊家・詩人・学者など諸芸に秀でた人たちが含まれていました。

人々にとって朝鮮通信使は 10 数年に一度巡って来る珍しい異国の風俗を見ることのできる一大イベントであり、当時はその音楽や踊りをまねることが大流行したと言われていています。三重県津市には「唐人踊り」が今も残っていますし、滋賀県でも旧五個荘町・小幡地区の郷土人形、「小幡人形」に朝鮮通信使の姿を模したものがあります。「小幡人形」は東近江市の「近江商人屋敷（中江準五郎邸）」で見ることができますが、人形に象られるほど、その姿は印象的だったのでしょ。

小幡人形「唐人」近江商人屋敷（中江準五郎邸）蔵

誠信の交わり 雨森芳洲と朝鮮通信使

雨森芳洲は、寛文8(1668)伊香郡雨森村(現高月町雨森)に生まれました。儒学者として対馬藩に仕えた芳洲は、第8・第9回目の通信使に随行するなど、交流の中心となる働きをしました。朝鮮語を学んだ芳洲は、初の日朝会話集『交隣須知』を著すほか、朝鮮外交の心得について書いた『交隣提醒』では、「朝鮮との交際については、第一に人情・社会のありようを知る事が大切です」として相互理解の必要性を、また「互に欺かず、争わず、真実をもって交わることを誠信というのです」(現代文は『交隣提醒』芳洲会編 芳洲会 1987年刊による)と両国間の信頼関係の重要性を説きました。外交の実務者としての経験から生まれた「誠信の交わり」という思想は、単に朝鮮との関係にとどまらず、現在の国際交流に当たっても通用するものとして高く評価されています。



受け継がれる交流の心

芳洲の生家跡は現在「雨森芳洲庵」という博物館となっています。芳洲ゆかりの文書や資料が展示されるほか、「東アジア交流ハウス」として、韓国留学生を招いてハングルの学習会が開催されるなど、国際交流活動も行われています。

2006年には外国籍市民との共生に取り組むN G O「近江渡来人倶楽部」により、博物館「渡来人歴史館」が大津市にオープンしました。日朝両国の歴史を、滋賀を中心に「正確で客観的な事実」で振り返り、共生に役立てることを目的に、両国間の交流を紹介する資料が展示されています。

朝鮮通信使の来日から 400 年、芳洲の説いた相互理解への試みは今も続いています。夏休み、両国の善隣友好の歴史に思いを馳せ、地域を歩いてみてはいかがでしょうか。

東アジア交流ハウス雨森芳洲庵	滋賀県伊香郡高月町雨森 1166	0749-85-5095
近江商人屋敷(中江準五郎邸)	東近江市五個荘金堂町 643	0748-48-3399
渡来人歴史館	滋賀県大津市梅林 2 丁目 4 番 6 号	077-525-3030

<http://www.t-rekisikan.com>

今月のBOOKまーく

～ ようこそ滋賀県立図書館へ ～

中国湖南省から、研修生をお迎えします!

『論語』の中に「朋あり遠方より来る。また、楽しからずや」という孔子の言葉があります。まさに県立図書館では今年9月に、滋賀県が友好県省として交流を深めている中国・湖南省の図書館から、職員の方を2名、研修生としてお迎えします。

約2か月間という短い期間ですが、現在図書館では、言葉や習慣の違いを乗り越え、充実した時間を過ごしていただくための準備の真最中です。4月からは職員全員で中国語の勉強にそしんでいるところです。

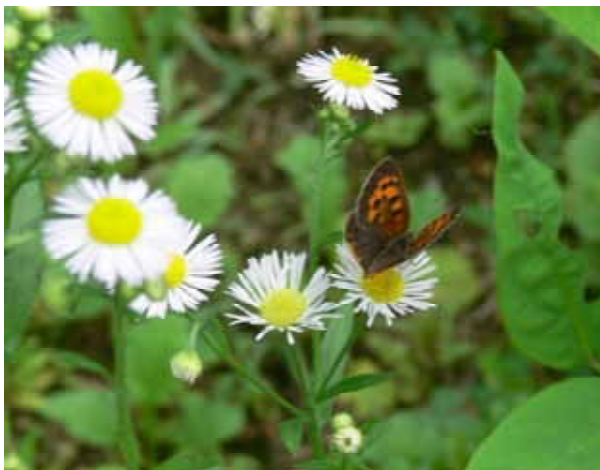
湖南省は、中国を代表する湖・洞庭湖を有しています。滋賀県の琵琶湖を目にされてどう思われるでしょうか。発展する中国の図書館の様子は伺いたいところです。

研修の様子は、次号以降の館報でもお知らせする予定ですので、ご期待ください。

カウンターや館内で、利用者の皆様も、お会いになる機会があるのではと思われます。

「大歓迎」をお願いします。

FLASH ふらっシュ



文化ゾーンの蝶

文化ゾーンでは、文化施設の利用とともに、四季折々の草花や生き物などの自然もお楽しみ下さい。

秋は紅葉、冬は椿や梅、春は桜とツツジの花、そして夏は木々の緑に蝉しぐれや蝶、といったところでしょうか。(写真はベニシジミ)

今月のデジタルアルバム帖



8月「戦時下の県土」

県民の皆さんからご提供いただいた写真や資料で、出征や学童疎開などの戦時下の滋賀県の様子を再現します。

9月「彦根城と城下町周辺を歩く」(仮題)

当館所蔵の近江国絵図や彦根市立図書館所蔵の資料から、築400年を迎えた彦根城とその城下町の様子を紹介します。

郷土資料紹介

平成19年5月～6月購入・寄贈分

考古学論究 小笠原好彦先生退任記念論集小笠原好彦先生退任記念論集刊行会編
真陽社 2007年**城下町の記憶** 写真が語る彦根城今昔西川幸治著 城下町彦根を考える会編
サンライズ出版 2007年**ともに希望を紡いで** 民主教育破壊の攻撃に
抗した3年間

山田稔著 山田稔 2007年

おっちゃんの自然体験記水田有夏志著 水田有夏志
サンライズ出版 (発売) 2007年**琵琶湖ハンドブック**琵琶湖ハンドブック編集委員会編 滋賀県
2007年**湖底の酸素はいま** びわ湖深底部酸素の動態
をさぐる

岡本巖編 酸素の会 2007年

伊吹山のお花畑あらたひでひろ写真 村瀬忠義解説
東方出版 2007年**琵琶湖発環境フィールドワークのすすめ**滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会編
昭和堂 2007年**東レ** 先端材料で世界一を目指すほしのちあき画 国際出版研究所 2007年
(コミック産業情報シリーズ 5)**巨樹の誘惑** 琵琶湖周辺・巨樹の山案内

草川啓三著 青山舎 2007年

奉仕と創造の50年 平和堂の歩み

出版文化社編 平和堂 2007年

近江鉄道・写真集

安藤紳次撮影 安藤紳次 2007年

中田均画集 ガチャンコ駅舎めぐり旅と私の
まち

中田均著 中田均 2007年

近江骨董紀行 城下町彦根から中山道・琵琶
湖へ筒井正夫著 新評論 2007年
(シリーズ近江文庫)**湖東焼私考**山本勇三編著 加藤喜康共著
文芸社 2007年**びわ湖ホールオペラをつくる** 創造し発信す
る劇場

上原恵美[ほか]著 新評論 2007年

風まどふ 句集

梶村芙蓉著 本阿弥書店 2007年

光秀の夢信長の夢

重徳良彦著 文芸社 2007年

松葉杖とともに

山本通生著 山本通生 2007年

湖国の本棚

ここでは、朝鮮通信使関連資料をビジュアルなもの、入門書を中心に紹介します。次頁以降のWeb版でも多くの資料をご紹介しますのでご覧下さい。

江戸時代の朝鮮通信使

李進熙 [著] 講談社 1992

図説・朝鮮通信使の旅 辛基秀, 仲尾宏編著
明石書店 2000**大系朝鮮通信使** 善隣と友好の記録 全8巻
辛基秀, 仲尾宏責任編集 明石書店 1996**「朝鮮人街道」をゆく** - 彦根東高校新聞部
による消えた道探し 門脇正人著
サンライズ印刷株式会社出版部 1995**朝鮮通信使** 豊臣秀吉の朝鮮侵略から友好へ
日韓共通歴史教材制作チーム編

明石書店 2005

朝鮮通信使絵図集成

辛基秀ほか著 講談社 1985

朝鮮通信使とその時代 上田正昭, 辛基秀,
仲尾宏著 明石書店 2001**朝鮮通信使の旅日記** - ソウルから江戸 -
「誠信の道」を訪ねて

辛基秀著 P H P 研究所 2002

雨森芳洲 - 元禄享保の国際人

上垣外憲一著 中央公論社 1989

雨森芳洲 - 日韓のかけ橋

吳満著 新風書房 2004

湖国の本棚 Web版

「湖国の本棚」では、当館で所蔵している朝鮮通信使、雨森芳洲関連の資料をご紹介します。
 なお、貴重書・絵図等、一部の資料は閲覧・貸出を制限しておりますのでご了承下さい。
 記載項目は 書名, 副書名, 著者, 出版社, 出版年, 請求記号 となっています。

(朝鮮通信使・朝鮮人街道関連)

絵図と景観の近世, 水本邦彦著, 校倉書房, 2002,

(内容: 江戸中期の朝鮮通信使と朝鮮人街道), S - 2500 - 02

近江国各郡町村絵図 大津市 2 [写真複製版], 滋賀県立図書館 [制作],

滋賀県立図書館, 1993, (内容: 膳所藩領往還図ほか), 1E-2911-2

江戸時代の朝鮮通信使と日本文学, 朴賛基著, 京都, 臨川書店, 2006, G - 2105 - ホ

江戸時代の朝鮮通信使, 映像文化協会編, 毎日新聞社, 1979, 2 - 2105 - I

江戸時代の朝鮮通信使, 李進熙著, 講談社, 1987, 2 - 2105 - リ

江戸時代の朝鮮通信使, 李進熙 [著], 講談社, 1992, (講談社学術文庫), 3 - 2105 - リ

江戸の外交都市, 朝鮮通信使と町づくり, 三宅理一著, 鹿島出版会, 1990, 2 - 2105 - ミ

海峡を結んだ通信使, 対馬発松原一征「誠信の交わり」の記, 嶋村初吉著,

福岡, 梓書院, 2007, G - 2105 - シ

海游録, 朝鮮通信使の日本紀行, 申維翰著, 平凡社, 1979, 2 - 2910 - シ

環琵琶湖文化論実習報告書 平成 7 年度, 滋賀県立大学人間文化学部編集,

彦根, 滋賀県立大学人間文化学部, 1996, (内容: 朝鮮通信使の道), SB - 3751 - 95

郷土の古への道朝鮮人街道, 滋賀県立八幡高等学校生徒会歴史クラブ編,

近江八幡, 滋賀県立八幡高等学校, 1978, 5 - 6800 - 78

近畿地方の歴史の道 滋賀 1, 滋賀県教育委員会編, 海路書院, 2005,

(内容: 朝鮮人街道) 5 - 6800 - 1

近世日本人は朝鮮をどうみていたか, 「鎖国」のなかの「異人」たち, 倉地克直著,

角川書店, 2001, 3 - 2105 - ク

こころの交流朝鮮通信使, 江戸時代から 21 世紀へのメッセージ,

京都文化博物館, 京都新聞社編集, [京都], 京都文化博物館, 2001, 3B - 2105 - コ

滋賀のなかの朝鮮, 歩いて知る朝鮮と日本の歴史, 朴鐘鳴編著, 明石書店, 2003,

S - 2300 - 03

使行録に見る朝鮮通信使の日本観, 江戸時代の日朝関係, 鄭章植著, 明石書店, 2006,

G - 2105 - チ

辛基秀 (シンギス) と朝鮮通信使の時代, 韓流の原点を求めて, 上野敏彦著,

明石書店, 2005, S - 2500 - 05

図説・朝鮮通信使の旅, 辛基秀, 仲尾宏編著, 明石書店, 2000, S - 2500 - 00

青丘学術論集 第 21 集, 朝鮮通信使関係資料目録, 韓国文化研究振興財団編集,

韓国文化研究振興財団, 2002, S - 2500 - 02

宗家記録と朝鮮通信使展, 江戸時代の日朝交流, 朝日新聞社文化企画局編集,

朝日新聞社, 1992, 5B - 2511 - 92

大君外交と「武威」, 近世日本の国際秩序と朝鮮観, 池内敏著,

名古屋, 名古屋大学出版会, 2006, G - 2105 - イ

- 大系朝鮮通信使 全8巻,善隣と友好の記録,辛基秀,仲尾宏責任編集,明石書店,1996,
5B - 2500 - 1 ~ 8
- 中近世古道調査報告書1 朝鮮人街道,滋賀県教育委員会編集,
大津,滋賀県教育委員会,1994,SB - 6800 - 1
- 朝鮮義僧将・松雲大師と徳川家康,仲尾宏,曹永祿編,明石書店,2002,G - 2104 - ナ
- 朝鮮人街道,江南良三著,近江八幡,近江八幡郷土史会,1986,S - 2500 - 86
- 朝鮮人街道,開館3周年特別展,能登川町立博物館編集,能登川町,能登川町立博物館,
2000,S - 6800 - 00
- 「朝鮮人街道」をゆく,彦根東高校新聞部による消えた道探し,門脇正人著,
彦根,サンライズ印刷株式会社出版部,1995,S - 6800 - 95
- 朝鮮人道見取絵図 全2巻,複刻版,東京美術,1990,1B - 6800 - 1 ~ 2
- 朝鮮通信使,善隣と友好のみより,上田正昭編,明石書店,1995,2 - 2105 - ヲ
- 朝鮮通信使,人の往来、文化の交流,辛基秀著,明石書店,1999,3 - 2105 - シ
- 朝鮮通信使,豊臣秀吉の朝鮮侵略から友好へ,日韓共通歴史教材制作チーム編,
明石書店,2005,G - 2101 - ニ
- 朝鮮通信使絵図集成,辛基秀ほか著,講談社,1985,3B - 2105 - シ
- 朝鮮通信使をよみなおす,「鎖国」史観を越えて,仲尾宏著,明石書店,2006,S - 2500 - 06
- 朝鮮通信使往来,260年の平和と友好,辛基秀著,労働経済社,1993,2 - 2105 - シ
- 朝鮮通信使往来,江戸時代260年の平和と友好,新版,辛基秀著,明石書店,2002,
G - 2105 - シ
- 朝鮮通信使紀行,杉洋子著,集英社,2002,3 - 2105 - ス
- 朝鮮通信使私考,山中靖城著,近江八幡,O・B・M・WP・C p t・S,1996,
S - 2500 - 96
- 朝鮮通信使史話,朴春日著,雄山閣,1992,S - 2500 - 92
- 朝鮮通信使と江戸時代の三都,仲尾宏著,明石書店,1993,2 - 2105 - ナ
- 朝鮮通信使とその時代,上田正昭,辛基秀,仲尾宏著,明石書店,2001,S - 2500 - 01
- 朝鮮通信使と徳川幕府,仲尾宏著,明石書店,1997,3 - 2105 - ナ
- 朝鮮通信使と日本人,江戸時代の日本と朝鮮,李元植[ほか]著,学生社,1992,
S - 2500 - 92
- 朝鮮通信使と文化伝播,唐子踊り・唐人踊りと祭礼行列を中心に,任東權著 竹田旦訳,
第一書房,2004,G - 2105 - ニ
- 朝鮮通信使のあとをたどる,善隣友好の道,伊ヶ崎淑彦著,東大阪,伊ヶ崎淑彦,1995,
2 - 2105 - イ
- 朝鮮通信使の海へ,日朝交流の歴史をたどる,小島敦夫著,丸善,1997,3 - 2105 - コ
- 朝鮮通信使の軌跡,増補・前近代の日本と朝鮮,仲尾宏著,明石書店,1992,5 - 2500 - 93
- 朝鮮通信使の饗応,高正晴子著,明石書店,2001,3 - 2105 - タ
- 朝鮮通信使の研究,李元植著,京都,思文閣出版,1997,2 - 2105 - リ
- 朝鮮通信使の旅日記,ソウルから江戸 - 「誠信の道」を訪ねて,辛基秀著,
P H P 研究所,2002,3 - 2105 - シ

- 対馬藩江戸家老,近世日朝外交をささえた人びと**,山本博文著,講談社,1995,2 - 2105 - ㍶
- 徳川吉宗と朝鮮通信使**,片野次雄著,誠文堂新光社,1985,5 - 2500 - 85
- 徳川吉宗と朝鮮通信使,知られざる交流**,片野次雄著,誠文堂新光社,1996,S - 2500 - 96
- 日東壮遊歌,ハングルでつづる朝鮮通信使の記録**,金仁謙〔著〕 高島淑郎訳注,
平凡社,1999,3 - 2105 - キ
- 日本見聞録にみる朝鮮通信使**,西村毬子著,明石書店,2000,3 - 2105 - ニ
- 八幡山の宴,近江八幡と朝鮮通信使**,近江八幡市,近江八幡市立資料館,2002,
SB - 2541 - 02
- 福岡藩朝鮮通信使記録 全13巻**,福岡地方史研究会古文書を読む会編集,
福岡,福岡地方史研究会,1993,2 - 2191 - 1~13
- 李朝国使3000キロの旅,雑学“朝鮮通信使”を歩く**,嶋村初吉著,
神戸,みずのわ出版,1999,3 - 2105 - シ
- 李朝の通信使,江戸時代の日本と朝鮮**,李進熙著,講談社,1976,2 - 2105 - リ
- 歴史地理教育 317号**,歴史教育者協議会編,歴史教育者協議会,1981,
(内容:江戸幕府の外交と朝鮮人街道)5 - 2500 - 81
- わが町に来た朝鮮通信使 1**,辛基秀編,明石書店,1993,2 - 2105 - シ
- 倭館,鎖国時代の日本人町**,田代和生著,文藝春秋,2002,G - 2105 - タ

(雨森芳洲 関連)

- A S H O D E L 13 越智文雄教授瀧山季乃教授定年記念特別号**,京都,同志社女子大学
英文学会,1980,(内容:雨森芳洲その『全一道人』をめぐる覚え書き)S - 0971 - 80
- 雨森家系図集覧**,雨森正高編集,高月町,雨森正高,2005,S - 2871 - 05
- 雨森芳洲,元禄享保の国際人**,上垣外憲一著,中央公論社,1989,S - 2871 - 89
- 雨森芳洲**,雨森芳洲庵編集,高月町,雨森芳洲庵,1990,5 - 2871 - 90
- 雨森芳洲**,高月町教育委員会編集,高月町,高月町教育委員会,1990,SP - 2871 - 90
- 雨森芳洲**,永留久恵著,福岡,西日本新聞社,1999,S - 2871 - 99
- 雨森芳洲,日韓のかけ橋**,吳満著,大阪,新風書房,2004,S - 1271 - 04
- 雨森芳洲**,平井茂彦著,高月町,平井茂彦,2004,S - 1271 - 04
- 雨森芳洲**,元禄享保の国際人,上垣外憲一〔著〕,講談社,2005,S - 1271 - 05
- 雨森芳洲関係資料目録**,文化庁文化財保護部美術工芸課編集,文化庁,1994,5 - 2871 - 94
- 雨森芳洲関係資料調査報告書**,滋賀県教育委員会編集,
高月町,高月町立観音の里歴史民俗資料館,1994,S - 2871 - 94
- 雨森芳洲再考,近世日本の「自~他」認識の観点から**,複写版,桂島宣弘著,
京都,立命館大学人文学会,1997,S - 2871 - 95
- 雨森芳洲全書 全4巻**,雨森芳洲著 関西大学東西学術研究所「日中文化交流の研究」歴史班
編著,吹田,関西大学出版部,1979,S - 0971 - 1~4
- 雨森芳洲先生**,芳洲会編,高月町,芳洲会,1968,SP - 2871 - 68
- 雨森芳洲先生**,雨森正高著,高月町,雨森正高,1986,SP - 2871 - 86
- 雨森芳洲と朝鮮通信使**,李進熙述,高月町,芳洲会,1988,SP - 2571 - 88
- 雨森芳洲の運命,対馬藩儒**,賈島憲治著,名古屋,風媒社,2001,S - 9571 - 01
- 雨森芳洲の涙,朝鮮佐役**,賈島憲治著,名古屋,風媒社,1997,S - 9571 - 97

- 雨森芳洲墨蹟展, 生誕320年記念特別展**, 高月町立観音の里歴史民俗資料館編集, 高月町, 高月町立観音の里歴史民俗資料館, 1988, S - 7271 - 88
- 医界風土記 近畿編**, 日本医師会編集, 京都, 思文閣出版, 1993, 5 - 4908 - 93
- 異本隣語大方・交隣須知 [正]**, 京都大学文学部国語学国文学研究室, 雨森芳洲編, [京都], [臨川書店], [1991年], 5 - 0971 - 1
- 異本隣語大方・交隣須知 補**, 京都大学文学部国語学国文学研究室, 雨森芳洲編, [京都], [臨川書店], [1991年], 5 - 0971 - 2
- 海峡の虹, 日朝の架け橋雨森芳洲**, 小西健之助著, 新風舎, 2006, S - 9571 - 06
- 橘窓茶話 上・中・下**, 木版, 雨森芳洲著, 京都, 斎藤庄兵衛, 1786, 1E - 0971 - 786
- 木下順庵・雨森芳洲**, 竹内弘行, 上野日出刀著, 明德出版社, 1991, S - 2871 - 91
- 近世畸人伝 続**, 伴蒿蹊共著 正宗敦夫編纂, 日本古典全集刊行会, 1939, (内容: 雨森芳洲) 5 - 2800 - 2
- 玄界灘に架けた歴史, 日朝関係の光と影**, 姜在彦著, 大阪, 大阪書籍, 1988, S - 2100 - 88
- 公私考之式, 仮題**, 雨森芳洲著 芳洲会解説, 高月町, 芳洲会, 2000, S - 1271 - 00
- 交隣須知 元・利・亨・貞**, 木版, 雨森芳洲著, [大阪], 高橋平助, 1789, 1 - 0971 - 789
- 『交隣須知』本文及び索引**, 高橋敬一, 不破浩子, 若木太一編, 大阪, 和泉書院, 2003, S - 0971 - 03
- 交隣須知, 本文・解題・索引**, 雨森芳洲, 京都大学文学部国語学国文学研究室編, 京都大学国文学会, 1966, S - 0971 - 91
- 『交隣須知』の日本語**, 齊藤明美著, 至文堂, 2002, S - 0971 - 02
- 交隣提醒**, 雨森芳洲著 芳洲会編, 高月町, 芳洲会, 1987, S - 0971 - 87
- 交隣提醒 全**, 雨森芳洲著 高月町古文書クラブ編, 高月町, 芳洲会, 1990, S - 0971 - 90
- 国書・書改之次第**, 新井・雨森直筆, 雨森芳洲, 新井白石 [原著] 高月町古文書クラブ編集, 高月町, 芳洲会, 1999, S - 0971 - 99
- 「探そう・深めよう・広めよう」, ~文化・人・歴史~**, 滋賀県教育委員会編集, 大津, 滋賀県教育委員会, 2002, SB - 2800 - 02
- 重要文化財雨森芳洲関係資料**, [絵はがき], 芳洲会 [編集], 高月町, 芳洲会, 2003, 5 - 1271 - 03
- 全一道人の研究**, 雨森芳洲著 京都大學國文學會編, 京都, 京都大學國文學會, 1964, 5 - 0971 - 64
- 高月の人物ものがたり, 郷土史に残る人々**, 滋賀県伊香郡高月町教育委員会編集, 高月町, 滋賀県伊香郡高月町教育委員会, 1990, S - 2871 - 90
- 多波礼具左 上・中・下**, 雨森芳洲原著, 大阪, 北尾善七, 1796, 1 - 0971 - 1~3
- たわ(は)れぐさ**, 謄写版刷, 雨森芳洲著, [高月町], 芳洲會, 1931, 1E - 0971 - 31
- たはれぐさ 釈文**, 雨森芳洲著, 高月町, 雨森正高, 1986, S - 0971 - 86
- 多波礼具左 上・中・下, たはれぐさ**, 雨森芳洲原著 高月町古文書クラブ編集, [高月町], 芳洲会, 1993, S - 0971 - 1~3
- 治要管見・朝鮮風俗考**, 雨森芳洲著 芳洲会編, 高月町, 芳洲会, 1992, SP - 0971 - 92

- 対馬藩藩儒雨森芳洲の基礎的研究**, 泉澄一著, 吹田, 関西大学出版部, 1997, 5 - 2871 - 97
- 対馬物語, 日韓善隣外交に尽力した雨森芳洲**, 田井友季子著, 光言社, 1991, S - 9571 - 91
- てのひら文庫 滋賀県 6年**, 滋賀県小学校教育研究会国語部会編, 文溪堂, 1992,
(内容: 雨森芳洲に会う) SP - 3700 - 6
- 日韓の架け橋となった人びと**, 東アジア学会編, 明石書店, 2003, S - 2871 - 03
- 「日本型社会」論の射程, 「帝国化」する世界の中で**, 大平祐一, 桂島宣弘編,
京都, 文理閣, 2005, (内容: 雨森芳洲と通信使), S - 2500 - 05
- 日本と朝鮮と雨森芳洲, 近江の先覚**, 吉田達著, 高月町, 吉田達, 1987, SP - 2871 - 87
- 平成の通信使 第1回使節団報告書**, 高月町国際交流事業, 高月町教育委員会編集,
高月町, 高月町教育委員会, 1990, S - 3171 - 1
- 芳洲詠草 巻4**, 雨森芳洲著 高月町古文書クラブ編, 高月町, 芳洲会, 1988, S - 0971 - 4
- 芳洲詠草 巻6(上・下)**, 雨森芳洲著 高月町古文書クラブ編, 高月町, 芳洲会, 1996,
S - 0971 - 6
- 芳洲詠草 巻8**, 雨森芳洲著 高月町古文書クラブ編, 高月町, 芳洲会, 1998, S - 0971 - 8
- 芳洲会講演集**, 芳洲会編集, 高月町, 芳洲会, 2002, S - 0471 - 02
- 芳洲會概要**, 北富永村青年團處女會編集, 北富永村, 北富永村青年團處女會, 1931,
5 - 2871 - 31